

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第2区分

【発行日】平成18年1月5日(2006.1.5)

【公表番号】特表2005-503265(P2005-503265A)

【公表日】平成17年2月3日(2005.2.3)

【年通号数】公開・登録公報2005-005

【出願番号】特願2003-530454(P2003-530454)

【国際特許分類】

B 2 3 K 20/10 (2006.01)

【F I】

B 2 3 K 20/10

【手続補正書】

【提出日】平成17年7月29日(2005.7.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

支持構造体と、

第1の取付け面を有し、前記支持構造体に取付けられる超音波ホーンと、

前記超音波ホーンから離隔され、第1の受け面を有するアンビルと、

前記第1の取付け面を前記第1の受け面に支持可能に連結する第1の受けアセンブリであって、前記超音波ホーンと前記アンビルとの一方に対して他方が回転する間に、該超音波ホーンと該アンビルとの間に最小固定間隙を調節可能に形成する第1の受けアセンブリと、

を具備することを特徴とする装置。

【請求項2】

前記第1の受けアセンブリが、

前記第1の取付け面に取着される分離装置と、

前記分離装置に対して同軸に配置される環状ホーン軸受と、

前記第1の取付け面および前記第1の受け面のうちの一方の近くに配置される従動面を有し、該従動面が該第1の取付け面および該第1の受け面のうちの一方と係合可能であるカム従動子軸受と、

前記環状ホーン軸受と前記カム従動子軸受とを支持可能に連結する偏心シャフトと、をさらに備える、請求項1に記載の装置。

【請求項3】

回転型超音波溶接ホーンの取付け方法であって、

溶接面および第1の取付け面を有する前記超音波ホーンを支持構造体に取着することと、

、 プレス面および第1の受け面を有するアンビルを、該プレス面が前記溶接面に隣接するように配置することと、

前記溶接面および前記プレス面を互いの方向へ付勢することと、

連結構造体により前記第1の受け面を前記第1の取付け面に連結し、前記プレス面と前記溶接面とが接触しないようにして、予め定めた離隔距離を形成することと、を含む回転型超音波溶接ホーンの取付け方法。